

法人名	横浜市
施設名	横浜市飯島保育園

発表者名 (職名)	河原 悦子 (保育士)	住所	横浜市栄区飯島町527		
発表者名 (職名)	宮台 和也 (保育士)	TEL	045-871-3661	FAX	045-871-3812
		メールアドレス			
		URL			
		定員	67名	職員数	42名

## 発表の概要・内容

昨年4月、新型コロナウイルス感染拡大により、非常事態宣言が発出されました。その中で保育園もこれまでの保育環境を大きく見直す事が必要になりました。飛沫感染するウイルスを防ぐために、何ができるのか情報を集めながら、手探りの感染予防を始めました。1. 保育室に職員以外の大人が入室しない2. あそび・食事の場面で密にならない3. 飛沫の広がりを防ぐ。また、子どもたちにもより強く自分の健康に関心を持ち、自ら感染を防ぐ気持ちを持てるようになって欲しいと考えました。運動あそびや食育活動、健康な体づくりの啓蒙活動などを通して、自ら健康で安全な生活を作り出す力の基礎を育てていきました。また、発達に合わせて、各クラスの子どもたちが自分の健康について興味関心を持つために、どのような働きかけをしていけば良いのかを、話し合ってきました。1. 2歳児クラスの事例では、食事前にテーブルにつくKちゃん。きれいに拭いたテーブルに茶色い跡。隣の席のOちゃんの前にも同様に跡があります。他にも手の汚れを落とさきれていない子がいます。早く手洗いを済ませて、大好きな友だちの隣に座りたい。手洗いの手順が面倒で分からないなど、理由はそれぞれにありました。手洗いには1. 目に見える汚れを除去する2. 感染を防止する3. 感染の連鎖を断ち切る4. 自分自身の健康を維持するなど、大切な役目があります。そこで、1. 2歳児が自ら健康に過ごすための取り組みとして、日常の手洗いを身につけることを目標としました。子どもたちが楽しく手洗いを工夫をいくつも行ってみました。泡スタンプ石鹸を用意すると、「私ネコの手になった」「私はウサギ」泡の形が変わるだけで、石鹸をつけるのを忘れる子どもがいなくなりました。また、看護師から手洗いの仕方を学んだ5歳児が、1. 2歳児クラスにやって来て実演して見せてくれました。歌に合わせて楽しく行う手洗いに、思わず笑顔で真似ている子もいました。一日幾度となく行う手洗いは、一人ひとり保育者が見守ります。「とても上手になったね」と言葉をかけると、みな誇らしげです。小さな経験を重ねていくうち、楽しんで取り組む、汚れを落とす洗い方を真似るという1. 2歳児が増えました。それでも、何度も繰り返して石鹸を出したり、流水で遊び始めたり、手伝われると怒り出したりする子もいます。そんな姿を受け止めながら、手洗いへの意欲が続くように、石鹸や水は「大事、大事」手洗いは「大事、大事」と伝えて来ました。子どもたちの中にも少しずつ浸透して、お互いに「ダイジ、ダイジ」と言い合ったりもしています。各年齢に合わせた取り組み、健康に繋がる活動や感染防止を踏まえた保育環境づくりに加え、清潔について、特に手洗いに重点をおいて取り組んだ一年でした。この一年に発生した感染症の数をまとめてみると、前年に比べて各感染症の発生は、37件から3件へと約10分の1に減少している事が分かりました。手洗いの効果は、インフルエンザや他の感染症予防に繋がるにではないかという事が実感できました。コロナ禍における子どもたちの健康環境を整えるため、今後も情報収集や園内研修の実施で、感染症対策の見直しを行うと共に、意欲的な手洗いが行われることが必要だと感じました。そして、自ら健康で安全な生活をつくり出す力が身につくような保育を大切に行っていきたいと考えます。



## メモ